世界に売り込め！ほくいく輸出サポートメール

令和5年9月5日 No.116
北 陸 農 政 局

今回のもくじ

○農林水産省等からの情報

【新着】

- ◆ 令和6年度農林水産予算概算要求（輸出予算）の概要について **New!**
- ◆ ALPS 処理水の海洋放出に伴う規制について **New!**
- ◆ 《プレスリリース》ALPS 処理水の処分に伴う経営・輸出等の対策に関する特別相談窓口の開設及びアドバイザーの派遣を行います **New!**
- ◆ 《セミナー・現地指導》中国向け加工食品等製造等施設登録基準の周知・現地指導支援事業（令和5年度農林水産省補助事業） **New!**

○JETROからの情報

【新着】

- ◆ 《品目別セミナー》ベトナムにおける青果物市場の現状と輸出の可能性 **New!**

○大阪税関からの情報

【新着】

- ◆ 《情報》経済連携協定(EPA)を活用して輸出をご検討の事業者さまへ **New!**
- ◆ 《情報》「A E O 制度」のご案内 **New!**

○GFPクラブ

- ★GFPの登録数が令和5年8月31日現在8,163件を超えました！ **New!**

=====

農林水産省等からの情報

【新着】

- ◆ 令和6年度農林水産予算概算要求（輸出予算）の概要について **New!**
(農林水産省へリンク)

8月31日(木)、農林水産省は令和6年度農林水産予算概算要求の概要を公表しました。農林水産物・食品の輸出拡大に向けた予算(概算要求額)は、令和5年度の当初予算比11億円増の120億円となっています。

人口減少に伴い国内市場が縮小する中で、輸出の促進は国内の生産基盤の維持に不可欠であり、輸出産地形成・供給体制の強化、戦略的な輸出の体制の整備・強化、知的財産の保護・活用の強化等のための取組を支援することにより、食料安定供給の確保に支援するため、増額要求となっています。

農林水産物・食品の輸出促進関連予算の詳細

[予算事業：農林水産省 \(maff.go.jp\)](http://maff.go.jp)

※概算要求については、今後、財務省の査定及び国会審議を経て決定されることから、変更の可能性があることご留意ください。

- ◆ ALPS 処理水の海洋放出に伴う規制について **New!**

2011年3月11日に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故による、日本の食品に対する放射性物質に係る規制についてお知らせします。

◇[東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う諸外国・地域の輸入規制への対応：農林水産省 \(maff.go.jp\)](http://maff.go.jp)

□お問い合わせ先
輸出相談窓口（輸出・国際局輸出支援課）
[TEL:03-3502-8111](tel:03-3502-8111)（内線 4360）

輸出・国際局国際地域課
[TEL:03-3502-8111](tel:03-3502-8111)（内線 3434）

◆《プレスリリース》ALPS 処理水の処分に伴う経営・輸出等の対策に関する特別相談窓口の開設及びアドバイザーの派遣を行います **New!**

政府は、令和 3 年 4 月に、ALPS 処理水を海洋放出する基本方針を決定し、本年 8 月 22 日には、政府として ALPS 処理水の処分が完了するまで安全確保、風評対策、なりわい継続に全責任を持って取り組むことを確認した上で、海洋放出開始は 8 月 24 日を見込むと示し、東京電力ホールディングス株式会社が同日に放出を開始しました。

他方、ALPS 処理水の放出に関しては、新たな風評影響の発生について御懸念の声をいただいていることから経営・輸出等について事業者の皆様からのご相談を受け付ける体制を改めて整備しました。

[ALPS 処理水の処分に伴う経営・輸出等の対策に関する特別相談窓口の設置及びアドバイザーの派遣を行います：農林水産省 \(maff.go.jp\)](http://maff.go.jp)

□お問い合わせ先
輸出・国際局輸出企画課
（日本貿易機構（ジェトロ）の実施する農林水産物・食品の輸出の支援に関すること）
輸出戦略調整官 原
担当者：柄澤、阿部
TEL：03-3502-8111（内線 4313）

経営局金融調整課
（資金繰りに関すること）
金融調整課長 宮田
担当：椛沢、笹井
TEL：03-6744-2165（内線 5240）

経済産業省福島復興推進グループ
（経営・輸出等に関すること）
福島事業・なりわい再建支援室長 三牧
担当者：菅井、藤原
TEL：03-3501-1511（内線 2741～2742）

経済産業省中小企業庁事業環境部
（資金繰りに関すること）
金融課長 神崎
担当者：来島、中村、内田
TEL：03-3501-1511（内線 5271～5275）

◆《セミナー・現地指導》中国向け加工食品等製造等施設登録基準の周知・現地指導支援事業（令和 5 年度農林水産省補助事業） **New!**

令和 4 年 1 月、中国において「輸入食品海外製造企業登録管理規定」が施行され、中国向け食品等の製造等施設は中国政府が運用する国際貿易シングルウィンドウへ施設情報等の登録申請を行うことが求められるようになりました。

特に日本政府が中国政府に登録推薦をすることが求められる品目については、製造等施設が中国の食品安全法規に基づく衛生管理を適切に行っていることを示す書類の提出が求められており、中国の食品安全法規等の正確な理解が必要です。

そこで、この度農林水産省補助事業として、輸出国政府による中国政府への推薦が必要となる品目の内、日本から中国に輸出可能な品目（※）について各種セミナー等の開催及び具体的な提出資料作成のための現地指導を実施します。

この機会に本事業を是非ご活用ください。

※ミツバチ製品、食用油脂・搾油原料、餡入り小麦粉製品、食用穀類、穀類製粉工業製品・麦芽、生鮮及び乾燥野菜並びに乾燥豆類、調味料、堅果及び種子類、ドライフルーツ、未焙煎の珈琲豆及びカカオ豆、特別用途食品、保健食品

◇対象者：食品製造事業者

□お問い合わせ先

詳しい研修内容、申込等は、以下の新日本検定協会ホームページをご覧ください。

<https://www.shinken.or.jp/archives/infomation/11472>

電話番号：045-534-7392

メールアドレス：sk-consult@shinken.or.jp

JETROからの情報

【新着】

◆《品目別セミナー》ベトナムにおける青果物市場の現状と輸出の可能性 **New!**

農林水産・食品分野等の海外専門家を講師に迎え、現地市場開拓に役立つヒントや最新マーケット情報をお届けするセミナー（ウェビナー）を開催します。

今回、日本産青果物の輸出拡大を目指す事業者様に向けて「ベトナムにおける青果物市場の現状と輸出の可能性」を解説します。

ぜひご視聴ください。

※本事業は農林水産省補助事業として実施します。

◇概要：

2023年は日本とベトナムの外交関係樹立50周年です。政治、経済、文化等に加え、食やライフ・スタイルといった日常的なレベルでの交流が拡大するなか、日本からのベトナム向け農林水産物・食品輸出額は2015年の345億円から2022年には724億円と拡大しています。

青果物についても日本産品は概ね好評である一方、日本より早くから輸入されている他国産品の方が安価で流通量が多く、認知度もそれらに比べると高いとはいえません。

本セミナーでは、ベトナムへの輸出を目指される方、関心をお持ちの方に向けて、ベトナムの経済概況や青果物の喫食状況、日本産青果物の現地市場への参入にかかる課題等について解説します。

◇詳細

- ・日 時：令和5年9月21日（木）15：00～16：00
- ・開催形式：オンライン開催（ライブ配信）
- ・使用ツール：Zoom
- ・講師：ジェトロ海外コーディネーター（農林水産・食品分野）荒島 由也 氏
- ・お申込み方法：<https://www.jetro.go.jp/events/afg/6462177006c87b98.html>
- ・募集締切り：令和5年9月19日（火）12時00分

□お問い合わせ先

ジェトロ農林水産食品部商流構築課（担当：古橋、林）

E-mail：afg_seminar@jetro.go.jp

大阪税関からの情報

【新着】

◆《情報》経済連携協定(EPA)を活用して輸出をご検討の事業者さまへ **New!**

税関では、EPA の利活用支援として以下のような取り組みを行っています。

◇税関ホームページ「原産地規則ポータル」

税関では、EPA を利用する場合に必要な原産地規則等についての情報提供のため、税関ホームページ上に「原産地規則ポータル」を設け、各種の原産地規則に関する資料をまとめて掲載しております。ぜひ、ご活用ください。

(<https://www.customs.go.jp/roo/index.htm>)

◇原産地規則等に関する講師派遣

大阪税関では、EPA を輸出入において適正に利用していただくため、輸出入に携わる企業、各種業界団体の皆様が開催する説明会や研修会に職員を講師として派遣しております。

ご希望がございましたら、まずはお気軽にご相談下さい。

(※個社単位ではお断りしていますが、関連会社等と合同で開催の場合は受け付けております。)

◇原産地規則等についての相談窓口

大阪税関では、原産地規則や関連する税関手続き等についての相談窓口を設けています。

ご質問等ございましたら、下記お問い合わせ先までご相談ください。

□お問い合わせ先

大阪税関 業務部 首席原産地調査官

TEL : 06-6576-3196

Mail : osaka-gensanchi@customs.go.jp

◆《情報》「A E O 制度」のご案内 **New!**

国際貿易の官民パートナーシッププログラム「AEO 制度」をご存知でしょうか。

税関では、貨物のセキュリティ確保と法令遵守の体制が整備された事業者を、認定事業者 (AEO 事業者) として承認し、税関手続を緩和・簡素化しています。

◇AEO 事業者になると以下の様なメリットを期待出来ます。

- ・輸出する貨物を自社の倉庫、工場等に置いたまま輸出許可を受けることができ、リードタイムの短縮が期待できます。
- ・貨物を輸出する際の税関による審査・検査が軽減されます。
- ・日本と相互に AEO 制度を承認している国や地域 (中国・韓国・台湾・アメリカ・EU 等 13 の国・地域) では、相手国での税関手続に日本の AEO ステータスが反映され、検査の軽減等の効果が発生します。

◇詳細はこちら (税関 HP)

- ・ AEO 制度

<https://www.customs.go.jp/zeikan/seido/kaizen.htm>

- ・ AEO 制度パンフレット

<https://www.customs.go.jp/zeikan/pamphlet/aeo/aeo.pdf>

□お問い合わせ先

大阪税関 業務部 認定事業者管理官

TEL : 06-6576-3391

Mail : osaka-aeo@customs.go.jp

GFP クラブ

GFP とは、Global Farmers/Fishermen/Foresters/Food Manufacturers Project の略称であり、農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品の輸出プロジェクトです。

★令和5年8月31日現在のGFPの登録数は8,163件！ **New!**
(農林水産省へリンク)

多くのお申し込みを頂き有り難うございます。
令和5年8月31日現在で、GFPの登録数は8,163件（うち農林水産・食品事業者は4,478件）となりました。

北陸農政局管内の登録数は347件（うち農林水産・食品事業者は235件）となっています。

GFP会員登録すると、専門家による輸出診断、GFPコミュニティーサイトにおける事業者同士の直接マッチング、各種情報提供などのサービスが受けられます。

輸出に意欲的な皆様の登録をお待ちしています！

詳しくはこちら → <https://www.gfpl.maff.go.jp/>

登録申込はこちら → [GFP登録申込み](#)

~~~~~  
★輸出促進関係リンク★

【輸出事業者向け】

農林水産物・食品 輸出支援プラットフォーム（ジェトロへリンク）

<https://www.jetro.go.jp/agriportal/platform.html>

【全般】農林水産物・食品の輸出拡大を後押しする食産業の海外展開ガイドライン（農林水産省へリンク）

<https://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokkyo/guideline.html>

【全般】農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略の進捗（農林水産省へリンク）

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/progress/index.html>

【全般】農林水産物・食品輸出支援策ガイド（農林水産省へリンク）

<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/yusyutsugaido.html>

【全般】輸出に関する手続き・制度（農林水産省へリンク）

[https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e\\_process/index.html](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_process/index.html)

▼地域・国別

[https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hq/i-4/yusyutu\\_shinsei.html](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hq/i-4/yusyutu_shinsei.html)

【全般】各国の食品安全関連規制（農林水産省へリンク）

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/kakukokukisei.html>

▼中国向け輸出食品の製造等企業登録に係る規制への対応

[農林水産省への登録申請受付](#)

[企業自ら中国政府への登録方法](#)

【全般】各国の食品・添加物等の規格基準（農林水産省へリンク）

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/shokuhin-kikaku/index.html>

【全般】海外における食品添加物規制（着色料）の早見表（農林水産省へリンク）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/seizo/230123.html>

【全般】輸出促進関連予算（農林水産省へリンク）

<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/zigyuu-gaiyou.html>

【全般】地理的表示（GI）登録申請の登録及び公示等情報（農林水産省へリンク）

(7月20日更新)

▼登録 [http://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi\\_act/register/](http://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi_act/register/)

▼公示等情報 [http://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi\\_act/notice/index.html](http://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi_act/notice/index.html)

8月 4日 西わらび

6月 14日 川井赤しそ

6月 5日 青森の黒にんにく

4月 19日 伝統宇治碾茶

4月 13日 長州黒かしわ

【県・市町村向け】 【農林漁業者向け】

農業生産工程管理（GAP）に関する情報（農林水産省へリンク）

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/>

【全般】

生産資材コストの低減を検討の皆様へ（農業資材比較サービス（AGMIRU））について  
(アグミルへリンク)

<https://new.agmiru.com/>

【食品事業者向け】

HACCP 支援法（食品の製造過程の管理の高度化に関する臨時措置法）について  
（農林水産省へリンク）

[https://www.maff.go.jp/j/shokusan/koudou/what\\_haccp/haccp\\_law.html](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/koudou/what_haccp/haccp_law.html)

【県・市町村向け】 【農林漁業者向け】

輸出先国の規制に対応するためのサポート体制整備事業（全国植物防疫協会へリンク）

<http://www.zenshoku-kyo.or.jp/consultation/>

【全般】 米穀の輸出について（農林水産省へリンク）

[https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e\\_process/h\\_rice.html](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_process/h_rice.html)

【輸出事業者向け】 EPA 利用早わかりサイト（農林水産省へリンク）（5月8日更新）

[https://www.maff.go.jp/j/kokusai/renkei/fta\\_kanren/epa\\_n.html](https://www.maff.go.jp/j/kokusai/renkei/fta_kanren/epa_n.html)

【全般】

北陸管内の輸出促進の取組及び関連情報（北陸農政局へリンク）（7月5日更新）

<http://www.maff.go.jp/hokuriku/food/export/index.html>

~~~~~

PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。

Adobe Readerをお持ちでない方は、AdobeWEBサイトからダウンロードしてご覧ください。

発行 北陸農政局農林水産物等輸出促進チーム

（北陸農政局 経営・事業支援部 輸出促進課）

E-mail : hokuriku_yusyutsu@maff.go.jp

TEL : 076-232-4233

★過去のサポートメールはこちら

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/food/export/mm.html>

★このメールに対する、ご意見・ご要望については、上記連絡先をお願いします。

なお、メール配信の登録・変更・停止は、下記URLによりお願いします。

<http://www.maff.go.jp/hokuriku/food/export//mm.html>